



平素は学校教育にご理解ご支援いただき、誠にありがとうございます。

お忙しい中、学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。保護者アンケートと児童アンケートの結果を基に今後の教育活動に向けて考察しました。小野小学校の子ども達の良さを活かしながら、改善すべきところは改善し、努力が必要なところは努力を重ねよりよい学校を目指していきます。

これからも学校・家庭・地域で協力し合いながら子ども達の健やかな成長を支援していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

令和6年度 児童アンケート結果

(1 そう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない 5 無回答)

のうち、1及び2の回答割合%)

(調査回答児童 全校児童 103 名回答)

1	わたしは、学校が楽しい。	86
2	わたしは、気持ちのよいあいさつや返事をしている。	88
3	わたしは、きれいにそうじしている。	96
4	わたしは、先生や友達の話をよく聞いている。	93
5	わたしは、学校のきまりをまもっている。	88
6	わたしは、学習していることがよくわかる。	91
7	わたしは、進んで運動し、体を動かしている。	85
8	わたしは、自分を大切にしている。	86
9	わたしは、友だちや先生を大切にしている。	99
10	わたしは、家族を大切にしている。	98
11	わたしは、友だちや先生から大切にされている。	91
12	わたしは、家族から大切にされている。	94
13	わたしは、先生に話をよく聞いてもらっている。	90
14	わたしは、先生に勉強をわかりやすく教えてもらっている。	92
15	わたしは先生に、よいところやがんばったことをほめてもらっている。	89
16	わたしは、先生にいけないところやまちがったことをしかってもらっている。	92
17	わたしは、家族に話をよく聞いてもらっている。	91
18	わたしは、家族によいところやがんばったことをほめてもらっている。	91
19	わたしは、家族にいけないところやまちがったことをしかってもらっている。	88
20	わたしは、家では言われなくても宿題をきちんとやっている。	86
21	わたしは、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身についている。	65

令和6年度 保護者アンケート結果

(1 そう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない 5 わからない

のうち、1及び2の回答割合%)

(調査回答保護者 88名回答 質問2については53名回答)

1	お子さんは、学校に行くのが楽しいと言っている。	89
2	お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	84
3	お子さんは、しっかりとあいさつができるようになってきている。	82
4	お子さんは、運動に親しみ、健康な生活を過ごせている。	90
5	お子さんは、命の大切さや人を思いやる気持ちなどが育ってきている。	99
6	お子さんは、目標に向かって粘り強く努力したり、家庭学習をがんばったりしている。	92
7	学校は、学校便り等の通信、ウェブサイト、参観・懇談会、行事等で必要な教育情報を積極的に伝えてい ると思う。	94
8	学校は、一人一人の児童に学習内容が身につくよう、分かりやすく指導していると思う。	84
9	学校は、道徳の指導などで、命を尊重する思いやりの心やいじめを許さない態度を育てる教育活動に取り 組んでいると思う。	95
10	学校は、お子さんの生活や学習、健康、悩みなどに関し、相談しやすい仕組みや誠実な対応に努めてい ると思う。	84
11	学校は、学習状況や生活の様子について、適切に評価し、保護者に伝えている。	84
12	学校は、学習の場にふさわしい環境の整備・充実に努めていると思う。	92
13	学校は、保護者や地域と連携し、災害発生時や登下校などの児童の安全確保に努めていると思う。	97
14	家庭では、あいさつや「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣や社会生活のマナーが身につくようにし ている。	95
15	家庭では、お子さんが地域に目を向け、地域の行事等に進んで参加できるように努めている。	95
16	家庭では、非常災害発生時等や登下校の安全のため、どのように行動するか、お子さんと確認ができて いる。	76

【成果と課題】

・児童アンケート「わたしは、学校が楽しい。」では、86%、保護者アンケート「お子さんは、学校に行くのが楽しいと言っている。」では、89%が肯定的な回答で、全体的には児童が楽しく学校生活を送っていると思われます。しかし、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答している児童、保護者がいることは課題として重く受け止め、さらに工夫して「学びが楽しい」学校づくりを進めていきます。

・児童アンケート「わたしは、友だちや先生を大切にしている。」「わたしは、家族を大切にしている。」保護者アンケート「お子さんは、命の大切さや人を思いやる気持ちなどが育ってきている。」では、肯定的な回答が98%以上ありました。今後も小規模校の良さを生かした縦割り活動や年間を通じて行う人権教育など人とのかかわりを大切にする教育を進めてまいります。

・児童アンケート「わたしは、先生に話をよく聞いてもらっている。」では、90%の児童が肯定的回答をしています。保護者アンケート「学校は、お子さんの生活や学習、健康、悩みなどに関し、相談しやすい仕組みや誠実な対応に努めていると思う。」では、84%が肯定的回答でした。児童、保護者の中には、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」「わからない」と感じておられる方もいらっしゃいます。個別懇談会や学級懇談会、教育相談週間などの機会を持ち、学校が児童、保護者にとって相談しやすい場となるように努めます。

・児童アンケート「わたしは、気持ちのよいあいさつや返事をしている。」では、88%、保護者アンケート「お子さんは、しっかりとあいさつができるようになっている。」では、82%が肯定的回答になっています。学校では、気持ちの良い挨拶をする児童が多いと感じていますが、その姿が、地域や家庭の中でもみられるように、発達段階に応じた指導を続けていきます。

・児童アンケート「わたしは、先生に勉強をわかりやすく教えてもらっている。」では、92%の肯定的回答がありますが、保護者アンケート「お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。」「学校は、学習状況や生活の様子について、適切に評価し、保護者に伝えている。」「学校は、一人一人の児童に学習内容が身につくよう、分かりやすく指導していると思う。」では、肯定的回答が 90%に満たない状況があります。学校では、よりよい授業を目指して研究に取り組んでいるところですが、研究が児童の実態や令和の時代にふさわしいものになっているか検討し、楽しい授業、わかる授業の工夫に取り組んでいきます。

・保護者アンケート「家庭では、あいさつや「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣や社会生活のマナーが身につくようにしている。」では、95%が肯定的回答であるのに対し、児童アンケート「わたしは、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身についている。」は、肯定的回答が 65%という結果が出ています。保護者は生活習慣を身につけるために取り組んでいる一方で、児童は、その取り組みを自主的に行えているとは感じていないことがうかがえます。今後は、児童が自ら進んで取り組める自立的な姿勢を育むためにどのようなアプローチが効果的かを検討していく必要があると考えます。

・保護者アンケート「家庭では、非常災害発生時等や登下校の安全のため、どのように行動するか、お子さんと確認ができています。」では、肯定的回答が 76%でした。ここ数年 70%台になっています。避難訓練などの学校での学びが、ご家庭で話題にさせていただくことができるよう充実させていきます。

【自由記述について】

自由記述の主なものは、「情報・連絡配信」「学校行事」「登下校」「施設・設備面」「日課」「学習課題」でした。トイレの改修など施設・設備についての要望は学校から市へ要望していきます。また、保護者への連絡については、紙面による連絡と tetoru による配信、メール配信を必要に応じて使い分け、効率的効果的な運用に努めます。

その他にも教職員に対する心温まるメッセージをたくさんいただき、深く感謝申し上げます。教職員一同、使命と責任を深く自覚し、日々の指導に邁進していきます。いただいたご意見は、次年度の教育活動に生かしてまいります。